

第5回ワクチンチーム会合

(日本病院会、日本精神科病院協会、全日本病院協会、日本医療法人協会との意見交換)

《開催要領》

- ・ 開催日時：2021年11月26日(金) 16:15~16:45
- ・ 参加者：堀内 詔子 ワクチン接種推進担当大臣
島村 大 厚生労働兼内閣府大臣政務官
相澤 孝夫 日本病院会会長
山崎 學 日本精神科病院協会会長
織田 正道 全日本病院協会副会長
太田 圭洋 日本医療法人協会副会長

《議事概要》

(堀内大臣)

- ・ 医療関係団体の皆様のご協力に感謝申し上げます。本日は、追加接種に向け率直な意見を伺いたい。

(相澤会長：日本病院会)

- ・ 感染は落ち着いているので病院の負担は減少しており、ワクチン接種を依頼されれば十分な対応ができる状況である。

(山崎会長：日本精神科病院協会)

- ・ 閉鎖的な職場ではクラスターが発生しやすい。また、精神科では陽性判明後一般病院への転院が難しい現実があった。
- ・ 3回目接種は高齢者接種と同等に精神科も優先接種としてほしい。
- ・ 精神科は接種率が低いことが課題。

(織田副会長：全日本病院協会)

- ・ 3回目接種も積極的に協力したい。
- ・ ファイザー社ワクチンをメインで接種してきたので3回目も可能な限りファイザー社にしてほしい。

(太田副会長：日本医療法人協会)

- ・ 当会は民間病院団体でワクチン接種も積極的に協力してきた。
- ・ 新型コロナ対策分科会やアドバイザリーボードの委員も拝命している。
- ・ 第6波は重要なオペレーションとなるので、国はロジスティックをしっかりと検討してほしい。

(山崎会長：日本精神科病院協会)

- ・ 初回接種では、国の考え方が現場では見えにくかったので、追加接種については、方針をしっかりと示してほしい。3回目接種は短い期間で打ち切るのか、8カ月の期間を待つのか自治体も理解してない場合がある。

(堀内大臣)

- ・ 接種間隔は原則8カ月として方向性は決めている。

(相澤会長：日本病院会)

- ・交互接種について、我々が説明しても現場が納得しない場合があるので、安全性と有効性について国としてしっかりと説明してほしい。

(堀内大臣)

- ・ご意見について承知した。

(相澤会長：日本病院会)

- ・半量になると現場も安心すると思うので我々も情報発信していきたい。

(太田副会長：日本医療法人協会)

- ・国の方針を早期にしっかり示してほしい。国は原則8ヵ月と言っているが、専門家の議論で6ヵ月という人もいる。接種体制のオペレーション構築のため、方針を早くほしい。

(山崎会長：日本精神科病院協会)

- ・8ヵ月では、接種券は配付されている状況になる。短期間に打とうとしているのか、初回接種の波に合わせ接種していくのか、国としてしっかり方針を示してほしい。

(織田副会長：全日本病院協会)

- ・クリニックでは時間外に副反応がでたときの対応に不安があるという意見もあるので、リスクがある人は病院で対応する。
- ・医療従事者と入院患者から追加接種すべきでは。また、利用者と濃厚接触する介護スタッフの1、2回目接種が高齢者より遅れたので、8ヵ月より前倒ししていただきたい。

(太田副会長：日本医療法人協会)

- ・高齢者枠で高齢者施設従事者、入所者セットで接種した方が良い。
- ・追加接種について、感染予防効果が重症化予防か大方針が見えない。

(島村政務官)

- ・今後は経口薬も普及する。引き続き協力願いたい。

以上